

大田区内の小学校で 水痘(みずぼうそう)の児童が 増えています！

問い合わせ先：大田区保健所感染症対策課

TEL 03-4446-2643

水痘(みずぼうそう)とは

水痘－带状疱疹ウイルスによる感染症で、特に小児によく見られる病気です。
咳やくしゃみで飛び散り空気中に漂うウイルスを吸い込むことによる感染と、
水疱や粘膜に接触することによる感染があります。

症状は

- ・接触から10～21日間(約2週間)の潜伏期間をへて発症する可能性があります。
- ・全身の水疱(水ぶくれ)と38度前後の発熱が主な症状です。
- ・症状が出る1～2日前からすべての水疱が痂皮化(かさぶた)になるまで人に移す可能性があります。

感染予防のポイント

有効な予防方法は予防接種です！かかっても症状は軽く済みます。

ワクチン接種歴を母子健康手帳で確認しましょう！

※水痘ワクチンは1歳から3歳までに2回接種が標準です。

※未接種でも接触後3日以内に、自費になりますがワクチンを接種することで
予防できる可能性があります。かかりつけ医に相談をしましょう！

- 発熱・水疱などの症状がある場合は必ず病院を受診してください。
- 受診の際は医師に「学校で水痘が発生している」ことを伝えてください。
- 出席停止・登校再開は診断した医師の指示に従ってください。

「体にぶつぶつが出たら、すぐに伝えて！」

とお子様にお話ししておいてください。